

令和2年上半期

# 火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

# 令和2年上半期火災と救急・救助の概要

この統計は、令和2年1月1日から令和2年6月30日までの上半期に三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

## [ 目 次 ]

### 火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

### 救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

### 救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

## 令和2年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した出火件数は20件で、前年と比べ8件増加しました。

火災種別では、建物火災が5件（25.0%）、林野火災は3件増加して7件（35.0%）、車両火災は2件増加して3件（15.0%）、その他火災は3件増加して5件（25.0%）となっています。

建物焼損棟数は5棟で、全焼1棟、部分焼1棟、ぼや3棟、り災世帯は1世帯、り災人員は4人です。

建物焼損面積は21㎡（前年7㎡）で増加しました。

火災損害額は218千円（前年434千円）で減少しています。

### 1 火災種別件数（対前年比）

発生年		令和2年	令和元年	比較
出火件数		20	12	8
火災種別	建物	5	5	0
	林野	7	4	3
	車両	3	1	2
	船舶	0	0	0
	その他	5	2	3

## 2 火災概要（対前年比）

出火件数は8件増加しています。  
林野・車両・その他火災が増加しています。

区 分	単 位	令和2年	令和元年	比 較
出 火 件 数	件	20	12	8
建 物	〃	5	5	0
住 宅	〃	1	3	△ 2
工 場	〃	0	1	△ 1
そ の 他	〃	4	1	3
林 野	〃	7	4	3
車 両	〃	3	1	2
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	5	2	3
損 害 額	千円	218	434	△ 216
建 物	〃	96	232	△ 136
建 物	〃	33	175	△ 142
収 容 物	〃	63	57	6
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	115	102	13
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	7	100	△ 93
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	5	5	0
全 焼	〃	1	0	1
半 焼	〃	0	0	0
部 分 焼	〃	1	3	△ 2
ぼ や	〃	3	2	1
爆 損	棟	0	0	0
損 害 棟 数	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m <sup>2</sup>	21	7	14
建 物 床 面 積	m <sup>2</sup>	21	7	14
建 物 表 面 積	〃	119	26	93
林 野	a	56	42	14
車 両	台	3	1	2
船 舶	台	0	0	0
負 傷 者	人	3	1	2
死 者	〃	0	0	0
り 災 世 帯	世帯	1	3	△ 2
全 損	〃	0	0	0
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	1	3	△ 2
り 災 人 員	人	4	6	△ 2
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	19	46	△ 27
〃 焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	4	1	3

(△印は減少)

### 3 署別火災件数

本署管内は4件増加、広野管内は1件減少、吉川分署管内は5件増加しています。

種 別 署 別	年	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
	元年	3	0	1	0	1	5
広野分署	2年	0	1	0	0	0	1
	元年	2	0	0	0	0	2
吉川分署	2年	1	4	1	0	4	10
	元年	0	4	0	0	1	5
合 計	2年	5	7	3	0	5	20
	元年	5	4	1	0	2	12

### 4 地区別火災件数

三木、別所、志染、吉川地区で増加しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
2年	5	0	2	2	1	1	0	0	0	9	20
元年	2	1	1	1	2	1	1	0	0	3	12

### 5 月別火災件数

5月、6月が5件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
2年	4	1	2	3	5	5	20
元年	0	2	2	2	2	4	12

## 6 曜日別火災件数

水曜日が5件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
2年	1	4	2	5	4	1	3	0	20
元年	2	4	1	0	2	1	2	0	12

## 7 時間別火災件数

15時台が4件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2年	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
元年	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
1	3	1	4	3	1	2	0	0	0	0	1	0	20
2	0	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	12

## 8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が9件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
2年	3	9	2	0	0	5	1	20
元年	0	10	0	0	0	2	0	12

## 9 原因別火災件数

たき火が11件となり、前年と同様火災原因のトップです。

原因別	2年	元年	原因別	2年	元年
たばこ	0	1	配線器具	1	0
こんろ	0	0	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	0
風呂かまど	0	0	たき火※	11	7
炉	0	0	溶接機・切断機	0	0
焼却炉	0	0	灯火	0	1
ストーブ	0	0	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	0	0
排気管	0	0	放火の疑い	0	1
電気機器・装置	2	0	その他	3	2
電灯・電話配線	1	0	不明	2	0
内燃機関	0	0	調査中	0	0
			合計	20	12

※

たき火欄内訳	2年	元年
たき火	5	4
虫焼火	6	5
合計	11	7

## 10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、20件中13件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
2年	0	6	4	0	2	1	13	7	20
元年	0	1	7	0	3	0	11	1	12

## 11 死者の状況

死者の発生はありません。

## 12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	64	18	18	100
偵察	27	6	8	41
警戒	36	12	9	57
応援	1	0	1	2
風水害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※「偵察」 煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査
- 「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動
- 「応援」 近隣応援(境界、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動

## 13 高速道路別出動状況

道別 \ 種別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	0	0	0	0	0	0	0	0
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽道	0	0	1	1	2	0	0	4
合計	0	0	1	1	2	0	0	4



## 令和2年上半期の救急概要

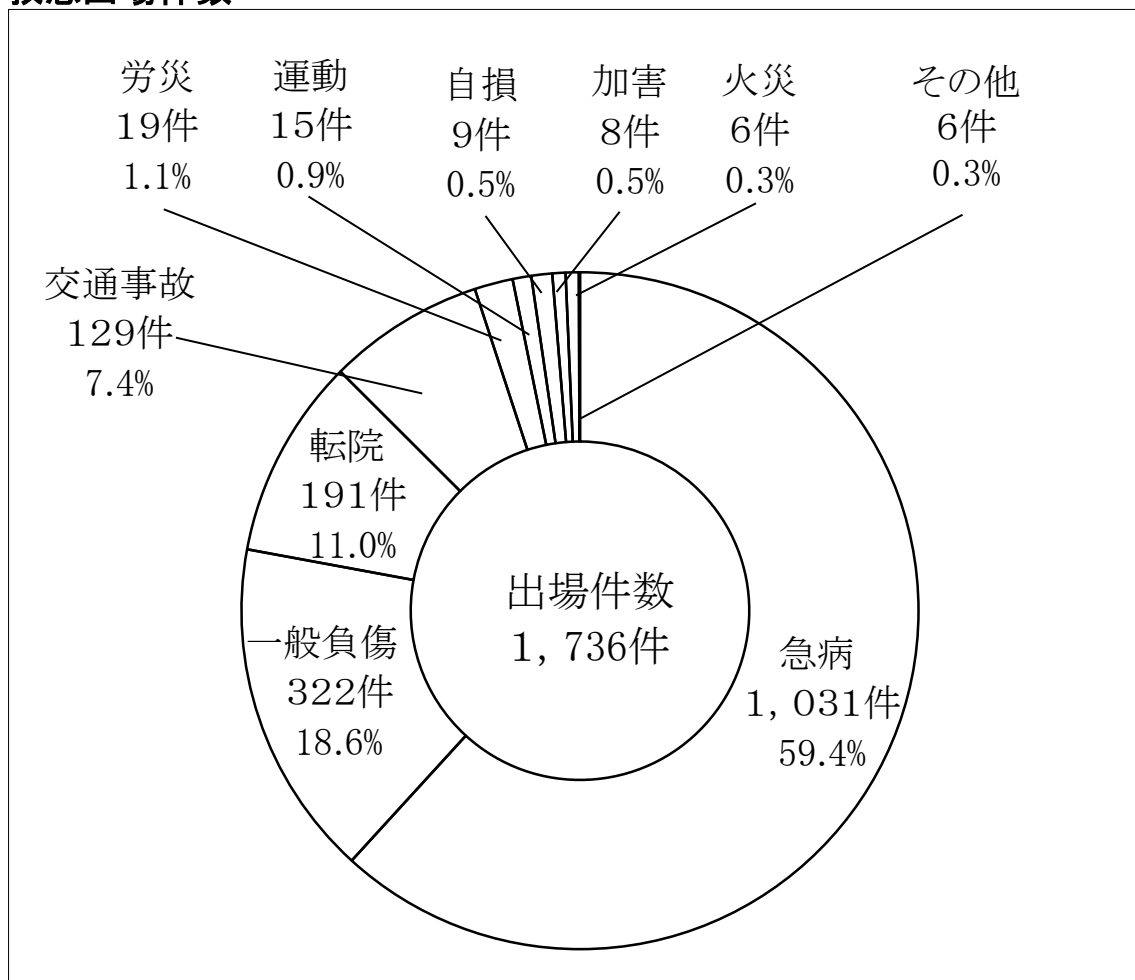
本年上半期（1月～6月）の救急出場件数は1,736件で、前年の1,896件に比べ160件減少しています。

搬送人員は1,595人で、昨年の1,771人に比べ176人の減少となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,031件（59.4%）で最も多く、一般負傷322件（18.6%）、転院搬送191件（11.0%）、交通事故129件（7.4%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、転院搬送27件の増加と、急病138件、交通事故23件の減少が目立っています。

### 1 救急出場件数



## 2 事故種別救急活動状況

種別	区分	救急出場件数			搬送人員		
		2年	元年	比較	2年	元年	比較
事故種別	火災	6	3	3	3	1	2
	自然災害	0	0	0	0	0	0
	水難	0	0	0	0	0	0
	交通	129	152	△ 23	121	160	△ 39
	労働災害	19	30	△ 11	18	30	△ 12
	運動競技	15	26	△ 11	15	24	△ 9
	一般負傷	322	327	△ 5	301	304	△ 3
	加害	8	12	△ 4	6	10	△ 4
	自損行為	9	9	0	6	7	△ 1
	急病	1,031	1,169	△ 138	936	1,073	△ 137
	その他	転院搬送	191	164	27	189	162
医師搬送		0	0	0	0	0	0
資器材輸送		0	0	0	0	0	0
その他		6	4	2	0	0	0
合計		1,736	1,896	△ 160	1,595	1,771	△ 176
不搬送		148	146	2			
管外搬送					1,102	1,189	△ 87

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

## 3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
2年	526	149	149	132	44	38
元年	527	199	164	161	68	44

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
195	247	67	174	15	1,736
190	261	75	189	18	1,896

#### 4 曜日別救急出場件数

月曜日が最も多く、最も少ないのは火曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
2年	251	278	214	256	244	246	247	1,736
元年	290	262	277	250	270	265	282	1,896

#### 5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは4月です。

1ヶ月平均289件、1日平均では9.5件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2年	389	298	292	233	238	286	1,736
元年	391	300	307	317	295	286	1,896

#### 6 時間別救急出場件数

10時台の128件が最も多く、次に9時台、12時台の114件で、最も少ないのは4時台の23件で、次に2時台の26件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
2年	37	30	26	29	23	34	36	67	104	114	128	91
元年	40	31	36	29	23	47	47	88	99	112	138	91

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
114	105	104	86	111	99	102	72	75	53	51	45	1,736
124	115	98	105	119	89	105	95	89	71	48	57	1,896

## 7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症、中等症、重症、死亡の順となっています。

単位：人

程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
2年	14	59	755	767	0	1,595
元年	19	68	723	961	0	1,771

## 8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の67.6%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
2年	0	56	43	418	1,078	1,595
元年	1	66	81	465	1,158	1,771

## 9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性、女性ともに88人の減少となっています。

科目別では、内科816人、脳神経外科の300人、整形外科の267人の順となっています。

単位：人

科目	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2年	85	37	122	145	173	127	446	370	23	17	3	2
元年	98	49	161	152	183	125	474	412	26	37	3	5

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	5	0	9	7	15	3	0	2	881	714
7	4	4	5	6	12	2	3	3	969	802

## 10 応急処置件数

全搬送人員 1, 595 人中 1, 592 人に対して応急処置が施されています。中でも患者観察の基本となる血中酸素飽和度測定(98%)、血圧測定(97%)は高比率で行われています。

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	934	120	301	237	1,592
止血	5	4	19	5	33
固定	2	49	36	5	92
人工呼吸	1	0	0	0	1
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	22	0	4	4	30
酸素吸入	126	8	15	52	201
気道確保	43	0	4	9	56
経口エアウェイ	0	0	0	0	0
喉頭鏡・鉗子	0	0	0	0	0
用手・吸引	30	0	3	6	39
※リングマスク等	13	0	0	3	16
※気管挿管	0	0	1	0	1
保温	26	6	5	4	41
被覆	1	24	71	12	108
在宅療法継続	10	0	0	0	10
除細動	3	0	0	0	3
血圧測定	906	116	291	233	1,546
心音・呼吸音聴取	120	35	20	23	198
血中酸素飽和度測定	919	120	298	234	1,571
心電図測定	591	37	71	133	832
※静脈路確保	15	1	2	2	20
心肺機能停止前	2	1	0	0	3
心肺機能停止後	13	0	2	2	17
※薬剤投与	4	0	2	1	7
※血糖測定	4	0	0	0	4
※ブドウ糖投与	0	0	0	0	0
その他	12	0	7	2	21
合計	2,810	400	845	719	4,774

※印は、救急救命士の特定行為等

## 令和2年上半期の救助概要

令和2年上半期における救助出動件数は35件で、前年と比べ10件多く、出動件数のうち屋内建物等による事故が20件で、全体の57%を占めています。

### 1 救助出動状況

区分		事故種別										合計
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他		
出動件数 (件)	2年		11				20			4	35	
	元年	1	9	2			12			1	25	
活動件数 (件)	2年		8				14			2	24	
	元年	1	8	2			8			1	20	
救助人員 (人)	2年		7				8			2	17	
	元年		11	2			6			1	20	
出動台数 (台)	2年		38				49			10	97	
	元年	5	35	7			26			2	75	
出動人員 (人)	2年		118				144			31	293	
	元年	16	94	19			74			6	209	

### 2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別										合計
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他		
屋内	住居						19				19	
	その他の屋内						1				1	
屋外	高速道路		2								2	
	その他の道路		7								7	
	その他の屋外		2							4	6	
	内水面										0	
	外水面										0	
	山岳										0	
その他											0	
合計		0	11	0	0	0	20	0	0	4	35	

### 3 事故種別地区別出動状況

三木地区が9件と最も多く、次いで自由が丘地区が6件となっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木		3				4			2	9
三木南						3			1	4
別所		1				2			1	4
志染		2								2
細川		1								1
口吉川		1								1
緑が丘						3				3
自由が丘						6				6
青山						2				2
吉川		1								1
高速道路		1								1
管外		1								1
合計	0	11	0	0	0	20	0	0	4	35